

授業で「味見」してみませんか？

話すこと[やり取り]の指導と評価



西宮市立甲陽園小学校 羽瀧 弘毅

本日のめあて

- 「評価観」をちょっとアップデートしよう
- やってみようかな！
- 同僚との話のタネに



評価は〇〇しい

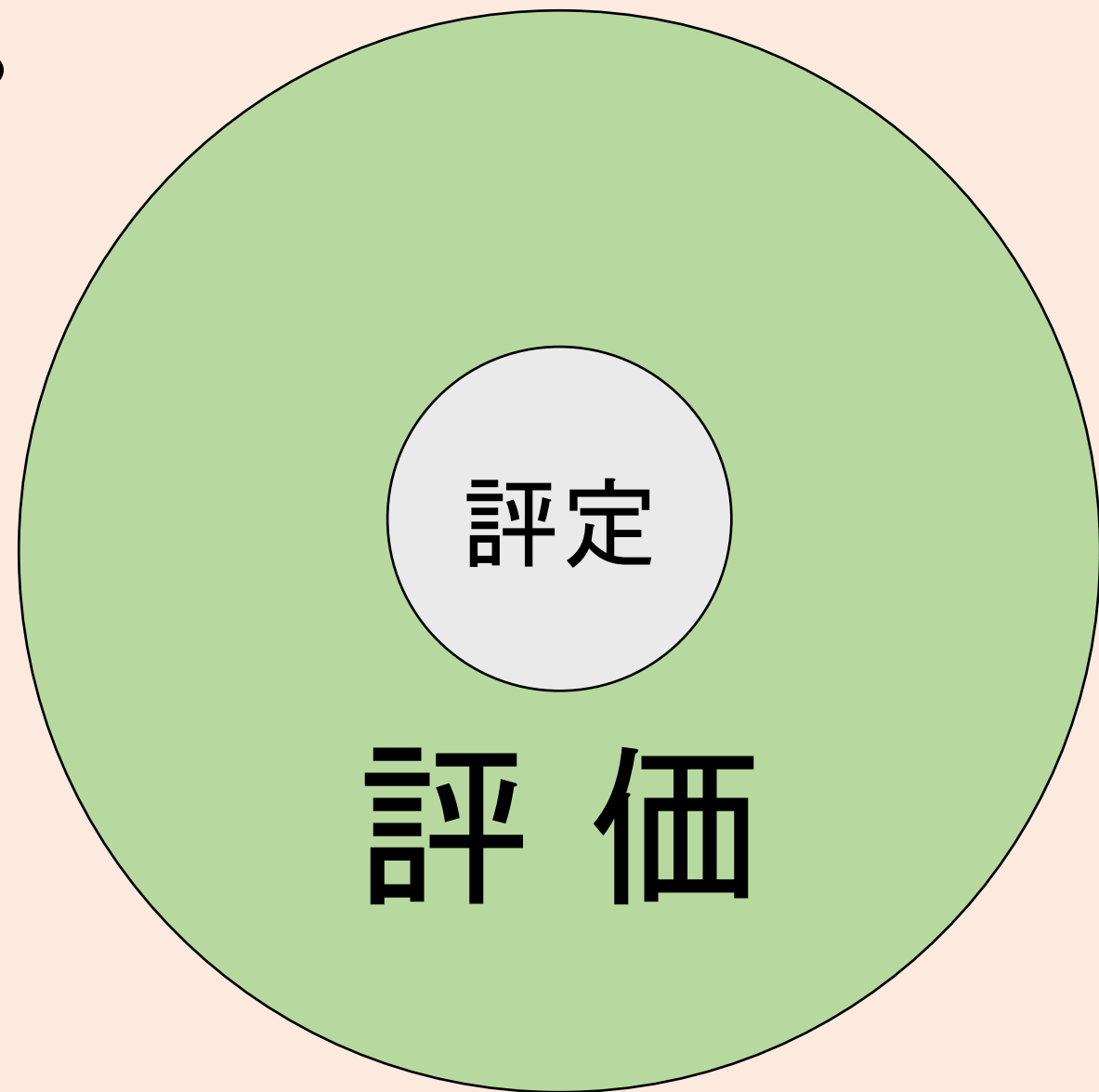
- ・かなしい
- ・むずかしい
- ・くるしい
- ・わずらわしい
- ・いそがしい
- ・うっとおしい
- ・そうぞうしい
- ・みずみずしい
- ・きびしい
- ・たのしい

教育の専門家として**教育的想像力を豊かにする**

→**子どもが見える**

評価は成績をつけること？

- 成績をつけること(評定)
 - 評価のほんの一部
- 評価と評定を間違えると
 - 授業改善、指導改善につながらない
- 議論の中心
 - △ 評価基準
 - ○ どんな力をつけるか



石井(2021)より改編

その力をつけるために評価基準をどうするか

プチまとめ 『評価は何のため？』

- 子どもたちの力を伸ばすため
- 授業改善、指導改善
- △ 力を正しく測定することが目標？
- △ 差をつけること、値踏みすることが目標？

どんな味？

- 全て食べる必要はない

→ 評価においても味見「**ちょっとチェックしてみる**」意識が大切

→ 完食する必要はない

→ 「評価疲れ」(石井2021)のもと



味見していますか？

- 味見…指導に生かす評価

→児童生徒一人一人の学習状況について**成果や課題を**
明らかにし、それに基づいて指導するためのもの。

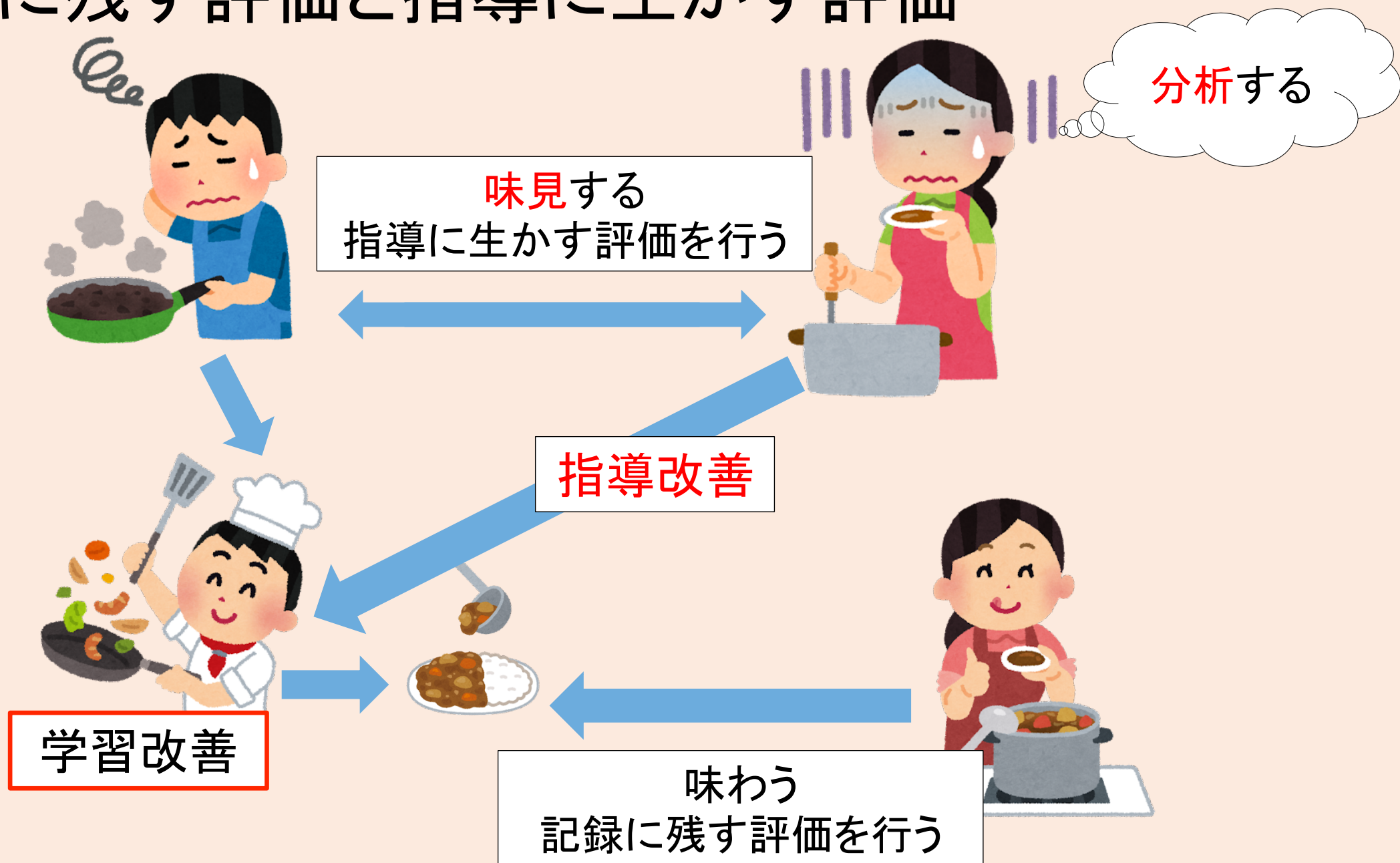
「あ、いいね！」

「ここどうかな？」(少しおかしいぞと気づける)

→授業中に**言葉がけ**できているか？

△内容を終わらせることばかりに気をとられる

記録に残す評価と指導に生かす評価



やり取りの指導と評価は「こんなことに困る！」

- 見本の提示が難しい
- ALTがいない！
- 評価基準
- 実施時期や回数について
- 方法
- やり取り実施時における他児童への配慮

話すこと[やり取り]を中心とした45分の流れ

1. 「読むこと」の帯活動
2. 単元の終末課題に必要なチャンツ
3. ペアトークのテーマ発表
4. テーマに関するチャンツ(心の準備)
5. Teacher's Talk「こまっトーク」から課題を見つける
6. 課題解決のためのグループワークやペアワーク「やってみよう！」
7. **中間指導、中間評価**
8. キーフレーズの確認
9. もう一回やってみよう！

ICT活用について

- 必然性はあるか？
 - 常に**自問自答**「本当にデジタルじゃないとダメ？」
- 指導者や児童生徒に過度な負担はない？
 - 持続**できるかな？
- シェアしよう！
 - 各自治体で**共有**できる？ ※汎用性のある研修は難しい
- 組み合わせよう
 - デジタルとアナログを上手く**使いこなす**

やり取りの指導と評価の「小技」

✓役割は必要不可欠

→「最初はグー」は魔法の言葉

✓方法は同じ、内容を常に変えるべし

→最初はうまくいかない(当たり前)、「昨日何した?」、「11月の思い出は?」

✓話すこと[発表]に向けての準備と捉えるべし

→[発表]と[やり取り]には密接な関係がある

✓具体的な指示や、やり取りのパターンを示すことなかれ

→その代わりに…「内容を考える」、「心の準備」などの準備する時間は与えて

✓うまくいったことやうまくいかなかったことを共有すべし

→コールアンドレスポンス、名前覚えている?

話すこと[発表]と話すこと[やり取り]の関係

- 「十分満足できる」状況(a)は密接な関係がある

「話すこと」における「十分満足できる」状況



I like kashiwa-mochi.
(うまく伝わらないなあ)

Japanese dessert!



あらかじめ決めていたことだけではなく、自分自身で修正しながら相手に話している。



(好きなものを伝えるために順番を工夫している)

I like cats. I have a brown cat. She is cute.

話す順番を工夫しながら発表をしている



Do you like jogging?

Many flowers,
beautiful. Nice park.



情報を加えながら話している

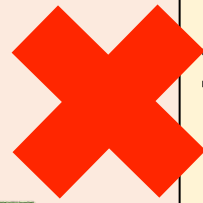
相手に問いかけしながら話している

話すこと[やり取り]の指導と評価のポイント

- 目指す姿(ゴール)は明確か？

→明確であれば偶然(子どもの声)を楽しむ余裕が生まれる

『バックワードデザイン』で授業観、指導観を変える 中嶋(2011)をもとに作成



ゴール

- ・教科書の内容を終わらせること
- ・定期的なテストをすること



Spoon Feeding (バカ丁寧な教え込み)

授業中の脱線や間延び



知識の説明のみ



授業中に思いついた活動を突然入れる



『バックワードデザイン』で授業観、指導観を変える 中嶋(2011)をもとに作成



- ・具体的な目標(姿)を決める
- ・どこまでできるようになったかを判別(評価)できる方法を決める

到達させるために選んだ活動が意味をもつ



意図的な指導
(教えること、気づかせることの区別)

活動のつながり
⇒子どもたちの必要観につながる



メタ認知力が高まる
何ができて、何が足りないのかを自己理解する

話すこと[やり取り]の指導と評価のポイント

- 目指す姿(ゴール)は明確か？
 - 明確であれば偶然(子どもの声)を楽しむ余裕が生まれる
- 日頃から味見しよう
 - 急に力はずつかない、変化を楽しもう
- 目を瞑る勇気を(欲張らない)
 - 「今日は〇〇だけに気をつけて味見しよう」
「〇〇さんに声をかけてみよう」
- 即時フィードバックは必要だけど…**タイミングも重要**
 - 適切なアドバイスが辛辣な評価と捉えてしまうこともあり

最後に

- 花も同じ

→咲いた花ばかり見ようとしてしまいがち

→成長過程に思いを巡らす

- 学校で「やり取り」を大切にしている意味？

→チョーク&トークだけでは「学校」に行く必然性はない

→(指導者も)協働的に学ぶ楽しさや難しさを味わおう

- 健康第一



参考資料

石井英真・鈴木秀幸 (2021). 『ヤマ場をおさえる学習評価 小学校』 図書文化社

国立教育政策研究所 (2020a). 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校外国語・外国語活動』

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_gaikokg.pdf

国立教育政策研究所 (2020b). 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校外国語』

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_gaikokg.pdf

田尻悟郎 (2014). 『田尻悟郎の英語教科書本文活用術!: 知的で楽しい活動&トレーニング集』 教育出版

中嶋洋一 (2011). 『バックワード・デザインによる「指導案改善」研修のすすめ : 本気で、今の授業を変えたい人へ』 <http://www.e-prosjp.com/report/view/40>